

| | | |
|---------------|------------|------|
| リサイクル燃料貯蔵株式会社 | | |
| 提出日 | 2022年3月30日 | |
| 管理表No. | 0309-11 | 改訂00 |

| 項目 | コメント内容 |
|---------------|--|
| 廃棄施設 (第一条) | 添付 17-4 P2(PDF2670)にある廃棄物貯蔵室の容量「2000 ドラム缶 100 本相当」について、実際のところ貯蔵できる最大値は何本なのか説明すること。また、ステンレス製等の容器の場合は本数が変わるのか説明すること。 |

(回 答)

廃棄物貯蔵室の容量は、別添 I 2.4 放射性廃棄物の廃棄施設 (PDF63～) に「2000 ドラム缶 100 本相当」と記載しており、全数ドラム缶で保管廃棄する場合は最大 100 本である。

なお、相当とした理由は、事業変更許可申請書の記載「2000 ドラム缶約 100 本相当」との整合性と、事業変更許可申請書に記載しているステンレス製等の密封容器を今後使用する場合には、その容器 1 個当たりの容量が 2000 ドラム缶何本相当かを計算して廃棄物の容量を管理するためである。

以上